

令和8（2026）年度

「運営に関する計画」

大阪市立まつば小学校

令和8（2026）年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題**【安全・安心な教育の推進】**

- 本年度は統合6年目となる。3つの地域が1つの校区を構成しているが、地域同士のつながりも深まり、学校を中心としての連携が築かれ、安全の見守り体制も整備されてきている。しかしながら、家庭での生活環境が厳しい児童が多く見られる。保護者が生活することに精一杯で子どもに愛情をかけてやれない家庭、保護者が朝早くから夜遅くまで仕事をしているため望ましい生活習慣が身につけていない家庭、保護者が自分中心の生活をしているため子どもの遅刻や欠席が目立ったり連絡が取れなかったりする家庭などが多い。したがって、規則正しい生活リズムや家庭学習の習慣が身につけている児童は少ない。また、中国をはじめとするアジア諸国から渡日により編入してくる児童が急激に増えており、保護者も子どもも日本語が難しい場合が多く、ほぼ全学年にわたって在籍している。担任や支援担当の教員によりサポートに努めてはいるものの、それだけでは十分とはいえない。自尊感情が持てなかったり、自己表現がうまくできなかったり、自己中心的な行動をしてしまったりする児童も少なくない。遅刻や欠席が目立ったり不登校であったりする児童も数名いる。児童一人一人が抱えている課題や家庭状況をしっかりと把握したうえで保護者と連絡を取り合ったり、複数の教職員で関わったり、地域関係諸機関と連携をしたりと、きめ細やかな対応を行っている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 昨年度、6年生では、全国学力学習状況調査の結果は全国平均、大阪市平均を大きく下回ったが、大阪市学力経年調査は大阪市平均との差を縮めることができた。大阪市学力経年調査の全体の結果を大阪市平均と比べると、4年生の算数科以外は下回った。しかしながら、一昨年度と経年比較をすれば、どの学年にも向上がみられる教科があり、特に国語科は全学年が一昨年度を上回った。宿題についてはほとんどの児童がやっているが、自主的に家庭学習をする習慣は身につけていない。基礎・基本の定着が不十分であったり、問題意識が低く意欲的に取り組めなかったりする児童も多い。3年間話し合い活動の研究に取り組んできた成果として、自分の考えを発表したり友だちの考えを聞いたりする力が身につけてきたが、互いの考えを交流しあうことで、自分の考えを深めたり広げたりすることはまだまだ十分であるとはいえない。学習に対する関心や意欲を高められるように、様々な学習活動の中で話し合い活動を積極的に取り入れるとともに、ICT機器を効果的に活用できるようにしている。また、集中力を高められるように、体幹を鍛え姿勢をよくすることを意識できるような取り組みも進めている。人権総合学習を中心とした教育活動についても、計画的に取組を実践し、道徳心・社会性の育成と表現力の向上に努めている。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業において、デジタル教材を活用した学習を日常的に取り入れたり、調べ学習や意見交流、学習のまとめ等にICT機器を活用した学習を工夫したりしながら取組を進めてきた。校内での取組をいっそう推進していくとともに、学習用端末を活用した家庭学習も進めていく必要がある。家庭での情報教育機器の環境にも差があり、保護者の理解や協力も必要不可欠である。学校からの情報発信と啓発活動を積極的に行いながら、より効果的な活用を引き続き取り組んでいく必要がある。また、教職員の時間外労働時間については、全体的に減少傾向が見られるものの、個人差や時期によっての差が見られ、仕事を持ち帰ることがあるのが現状である。年次休暇等を有効に取得しながら、働きやすい環境を維持することが大切である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11（2029）年度末の校内調査（学校生活アンケート）において「思いやりの気持ちを持ち、友だちを大切にしている」に対して最も肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。（昨年度結果62.8%）
- 令和11（2029）年度末の校内調査（学校生活アンケート）において「自分にはよいところがある」と肯定的にとらえる児童の割合を85%以上にする。（昨年度結果83.2%）
- 令和11（2029）年度末の校内調査（学習アンケート）において、「地域や西成区の学習を進めていくことで、自分たちの住んでいる地域や西成区が好きになった」と「韓国・朝鮮をはじめとした様々な国や地域の学習は好き」と考える児童を85%以上にする。（昨年度結果81.7%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11（2029）年度末の校内調査（学校生活アンケート）で「学校の授業はわかる」と肯定的にとらえる児童の割合を88%以上にする。（昨年度結果87.2%）
- 令和11（2029）年度末の校内調査（学校生活アンケート）で「正しい姿勢で学習することは大切だと思う」と肯定的にとらえる児童の割合を90%以上にする。（昨年度結果90.9%）
- 令和11（2029）年度末の校内調査（学校生活アンケート）において「運動をするのが好きである」と肯定的にとらえる児童の割合を85%以上にする。（昨年度結果85.6%）

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11（2029）年度末の校内調査（保護者アンケート）において「学校はICT（タブレット・デジタル教科書・プロジェクター等）を活用した授業をすすめている」と肯定的にとらえる保護者の割合を93%以上にする。（昨年度結果91.0%）
- 令和11（2029）年度の教員1か月あたりの平均時間外労働時間を、令和7（2025）年度より5時間削減する。（昨年度結果 全教員平均27時間27分）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。（昨年度結果82%）
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。（昨年度結果71%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
(昨年度結果 国語 4年：+1.0 5年：+0.8 6年：+2.6
算数 4年：-1.4 5年：-1.3 6年：+1.1)
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。（昨年度結果76%）
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（昨年度結果79%）
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。（昨年度結果71%）
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（昨年度結果83%）

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。（昨年度結果65%）
- 令和8（2026）年度末において、1か月あたりの平均時間外労働時間が月30時間以下の教員の割合を70%以上にする。（昨年度結果68%）
- 年次有給休暇等を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。（昨年度結果82%）

【その他】

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立まつば小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(昨年度結果82%)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(昨年度結果71%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向番号1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が安全に安心して登校できるよう、保護者と連携をとりながら、児童に寄り添ったきめ細やかな対応を行う。また、児童や家庭へより適切な支援ができるよう、地域関係諸機関とも連携をとりながら迅速にきめ細やかな対応を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の学級での様子や家庭環境、現状の把握に努め、月に1回、児童理解研修や2部会(生活指導部会・特別支援教育部会)で学校全体として共通理解を図る。連絡のない欠席や遅刻に対して、可能な限り早急に連絡を取り、欠席等の理由を確認し、必要に応じては、教職員だけでなく、SSWやSC、こども相談センター、主任児童委員等の関係諸機関と連携しながら登校支援を行う。 令和8(2026)年度末の校内調査(保護者アンケート)において「学校は、保護者や地域の皆様の願いを受け止めて、教育活動を進めている」と肯定的にとらえる保護者の割合を93%以上にする。(昨年度結果93%) 令和8(2026)年度末の校内調査(学校生活アンケート)において「学校のきまりを守っている」と肯定的にとらえる児童の割合を93%以上にする。(昨年度結果92%) 令和8(2026)年度末の校内調査(学校生活アンケート)において「災害時(地震や火災など)にとるべき行動がわかっている」と肯定的にとらえる児童の割合を95%以上にする。(昨年度結果94%) 令和8(2026)年度末の校内調査(学校生活アンケート)において「スマホの危険性や適切な使い方について理解している」と肯定的にとらえる児童の割合を92%以上にする。(昨年度結果91%) 	
<p>取組内容② 【基本的な方向番号2 豊かな心の育成】</p> <p>人権総合学習の取組を中心に、自分の地域や暮らしを見つめ、自分の生き方を考え、豊かな心を育てる。</p>	

指標

- ・ 各学年の発達段階に応じた人権総合学習の年間指導計画を作成し、計画的に実施する。(人権・部落問題学習、在日外国人・多文化共生教育、インクルーシブ教育、反戦・平和教育)
- ・ 令和8(2026)年度末の校内調査(学校生活アンケート)において「思いやりの気持ちを持ち、友だちを大切にしている」に対して最も肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。(昨年度結果62.8%)
- ・ 令和8(2026)年度末の校内調査(学校生活アンケート)において、「地域のことを調べたり、地域の人に教えてもらったりするのは大切だ」と肯定的に考える児童を80%以上にする。(昨年度結果80%)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立まつば小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 (昨年度結果 国語 4年: +1.0 5年: +0.8 6年: +2.6 算数 4年: -1.4 5年: -1.3 6年: +1.1)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(昨年度結果76%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(昨年度結果79%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(昨年度結果71%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(昨年度結果83%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向番号4 誰一人取り残さない学力の向上】 全国・全市共通の調査に向けての取組を実施し、学力向上に向けて研究・研修に努め、実践に生かす。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修、全体授業研究、若手教員研修を年間12回以上実施し、若手教員の育成を図るとともに、教員全体としての指導力の向上に努める。 ・ 令和8(2026)年度末の校内調査(学校生活アンケート)において「学校の授業はわかる」に対して最も肯定的に回答する児童の割合を45%以上にする。 (昨年度結果は39%) ・ 令和8(2026)年度末の校内調査(学校生活アンケート)において「自分の考えを伝え合う力が伸びている、友だちと話し合うのが好きだ」と肯定的にとらえる児童の割合を90%以上にする。(昨年度結果は89%) ・ 令和8(2026)年度末の校内調査(保護者アンケート)において「学校は子どもの学力向上のため適切な取組を進めている」と肯定的にとらえる保護者の割合を90%以上にする。(昨年度結果は89%) 	
<p>取組内容② 【基本的な方向番号5 健やかな体の育成】 児童の健康・体力向上への意識を高める。</p> <hr/>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の体づくり・体力向上に向けて、校内研修を年間 2 回以上行い、日々の体育科の授業に取り入れる。 ・ 学級で姿勢に関する指導に取り組むとともに、月に 1 回「せのびタイム」を実施し、令和 8（2026）年度末の校内調査（学校生活アンケート）において「正しい姿勢で学習することは大切だと思う」と肯定的にとらえる児童の割合を 90%以上にする。（昨年度結果は 91%） ・ 「外遊び週間」や「なわとび週間」、「耐寒かけ足」等の体力向上に特化した全校活動を学期に 1 回実施する。 ・ 令和 8（2026）年度末の校内調査（学校生活アンケート）において「運動をするのが好きである」と肯定的にとらえる児童の割合を 85%以上にする。 (昨年度結果は 86%) 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立まつば小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 67%以上にする。(昨年度結果 65%)</p> <p>○ 令和 8 (2026) 年度末において、1 か月あたりの平均時間外労働時間が月 30 時間以下の教員の割合を 70%以上にする。(昨年度結果 68%)</p> <p>○ 年次有給休暇等を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。 (昨年度結果 82%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向番号 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>一人一台端末の環境を生かし、デジタル教材や協働学習支援ツールを活用することで、子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け取り組む。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を活用した学習を週 2 回以上実施する。 令和 8 (2026) 年度末の校内調査 (学習アンケート) において「パソコンを使った学習は楽しい」と肯定的にとらえる児童の割合を 88%以上にする。 (昨年度結果 88%) 	
<p>取組内容② 【基本的な方向番号 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、これまでの取組を継続・発展させるとともに、教職員が貢献感とやりがいを感じられ、働きやすい職場環境を整備・工夫する。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日を週 1 回設定・実施するとともに、定時退庁日を月 1 回設定する。 令和 8 (2026) 年度末において、1 か月あたりの平均時間外労働時間が月 30 時間以下の教員の割合を 70%以上にする。(昨年度結果 68%) 年次有給休暇等を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。 (昨年度結果 82%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	